

## 1. 建築計画

## 1. 設計主旨

- ① 周辺地域との共存を図る施設配置計画
- ② 9年間の教育課程に一貫性を持たせた教育環境整備計画
- ③ 教育環境や社会環境の変化に対応可能な計画と地域開放施設を集約した計画
- ④ 環境に配慮し自然エネルギーを取り入れたエコスクールの実現
- ⑤ 歴史の継承とまちづくりを考えた地域の拠点施設として計画

## 2. 敷地概要

福岡市博多区美野島3丁目22-7 約11,000㎡

## 3. 建物概要

地上6階・地下1階、延床面積 約24,000㎡  
 [校舎棟] RC造、[運動場棟] SRC造、一部S造

## 4. 施設配置

- ① 限られた敷地を最大限有効に活用するため、運動場を人工地盤形態とし、運動場下に体育施設を配置する。（運動場は現美野島小より4割程度拡張（約3800㎡→約5200㎡）
- ② 近隣住宅に対する圧迫感を軽減するため、南西側に校舎を配置するとともに東側に歩道状空地や遊具広場を設置するなど、周辺環境へ配慮をする。
- ③ 歩車分離を明確にした安全な動線計画とする。

## 5. 平面・断面計画、教室配置

- ① 小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進（縦ゾーン方式の導入）
- ② 小中同種の特別教室を隣接させ、学びの連続性を図るとともに、ランチルームをはじめとした小中学生の交流ゾーンを設ける。
- ③ 普通教室のある4,5,6階に教師ステーションを設置し、教員の常駐による日常的な安全管理や生活指導を強化。
- ④ 小・中学校の教員間の緊密な連携、意思の疎通を図るため、職員室を一体化。
- ⑤ 6階建ての校舎に対して運動場を3階レベルに設けることで、児童生徒の生活範囲を3階～6階に集約し、日常移動負担の軽減を図る。
- ⑥ 広いエントランス広場を設け、人工地盤下の圧迫感や登下校時の児童生徒の混雑を緩和。（上部は吹抜けとし、人工地盤下の採光と通風を確保とともにシンボリックな空間とする）
- ⑦ 特別支援学級は、普通学級の児童生徒との交流を図るため校種ごとのまとまりを重視し、小・中それぞれの普通学級に近接した場所に配置。

## 6. 環境配慮計画 ～自然エネルギーを最大限に取り組む施設計画～

- ① 西日の強い日射を低減する『縦ルーバー（日よけ）』等の設置
- ② 建物を分節し、長い廊下に対して『自然採光・自然通風』の確保
- ③ 便所の洗浄水として『雨水の再利用』
- ④ 雨水の流出抑制のため、『雨水貯留槽』や『浸透枡』等の設置
- ⑤ 地中熱を利用した『クール・ヒートトレンチ』の採用
- ⑥ 『太陽光発電パネル』の設置

## 2. 設備計画

設備機器	計画概要
中央監視設備	設備機器の監視を行う中央監視設備を職員室に設置
放送設備	非常放送アンプを設置し、火災発生時は自動放送により避難誘導
非常用発電機設備	非常時の電源として自家発電用発電機を設置 （体育館照明の一部、エレベーター、排水ポンプ等）
防犯設備	① 主要な出入口は電気錠による施錠が行える計画とする ② 機械警備会社による警備委託
防犯カメラ設備	① 防犯カメラを適宜設置 ② 監視モニタは職員室、事務室及び受付に設置
呼出表示設備	多目的トイレに呼び出しボタンを設置
校内通信設備	① 敷地出入口及び建物出入口には、カメラ付きインターホン及び電気錠を適宜設置する ② 職員室と各教室との連絡用にインターホンを設置
自動火災報知設備	主受信機を職員室に設置、副受信機を受付に設置
音響設備	小中学校各々の体育館に個別放送用のアンプ及びスピーカを設置
太陽光発電設備	校舎棟屋上に太陽光発電設備（20kw）を設置。表示パネルを設置
空調設備	① 図書室、パソコン室、事務室、職員室等に空調設備を設置 ② 室内機は天井カセット型を基本とする
換気設備	① 室内の熱、湿気、臭気を除去するため、必要諸室に換気設備を設置 ② 図書室、パソコン室、事務室、職員室等は全熱交換器による換気 ③ 体育館は、自然換気と地熱を利用したクール・ヒートトレンチによる機械換気の併用
自動制御監視設備	① エアコン室内機、全熱交換器は各室で発停、職員室に集中コントローラー設置 ② 換気扇、送風機は各室での発停
給水設備	① 給水引込は上水の1系統とし、受水槽へ貯留後、加圧給水ポンプ方式にて供給（ただし、児童生徒が飲料水として利用する主な系統は、市水本管より直結給水方式にて供給） ② プールは別系統で給水する
排水設備	① 建物内は汚水、雑排水分流方式とし、屋外にて合流、公共下水道に放流 ② 厨房排水は単独系統とする
衛生器具設備	① 節水型の器具を採用 ② 小便器はセンサー方式の自動洗浄、大便器は普通便座を採用 ③ 小学校低学年が使用する洋風便器は幼児便座付きとする ④ 便所の手洗いは自動水栓とする
雨水利用設備	雨水貯留槽を地下ピットに設け、ろ過後、雑用水として利用
昇降機設備	1号機：乗用エレベーター（福祉型）、20人乗り 2号機：人荷用エレベーター、15人乗り

※ 基本的には、「電気設備工事設計の手引き」及び「機械設備工事設計の手引き」（福岡市）等の設計基準に基づく設計を行う

※ 消防法その他関係法令に基づく設備（非常放送設備、自動火災報知設備、消火設備等）を設置